

①	1 個の細胞が 2 つに分かれて 2 個の細胞になること	さいぼうぶれつ 細胞分裂	⑩	雄と雌によって新しい個体がつくられる⑬	ゆうせいせいしよく 有性生殖
②	タマネギの根で①が起こっているのは、 先端に近い部分か、根元に近い部分か	せんたん 先端	⑪	⑬のための特別な細胞	せいしよくさいぼう 生殖細胞
③	①が行われているとき、核の中に見られるひも状のもの	せんしよくたい 染色体	⑫	動物の雌(めす)がつくる⑰	らん 卵
④	生物の形や性質などのこと	けいしつ 形質	⑬	動物の雄(おす)がつくる⑰	せいし 精子
⑤	③のなかにある、生物の形や性質を決めるもの	いでんし 遺伝子	⑭	被子植物の胚珠の中でつくられる⑰	らんさいぼう 卵細胞
⑥	からだをつくる細胞が分裂する①	たいさいぼうぶれつ 体細胞分裂	⑮	被子植物の花粉の中でつくられる⑰	せいさいぼう 精細胞
⑦	タマネギの根のひとつひとつの細胞をはなれやすくするため、 何の液体に入れて 1 分間あたためるか	えんさん うすい塩酸	⑯	2 種類の⑰が結合し、1 つの細胞になること	じゅせい 受精
⑧	細胞をひとつひとつに分離するため、タマネギの根をスライドガラ スに乗せたあと、柄つき針の腹でどうすればいいか	つぶす	⑰	⑯に⑮が⑯した細胞	じゅせいらん 受精卵
⑨	植物の核を赤く染める染色液	さくさん 酢酸オルセイン (酢酸カーミン)	⑱	⑯が①をくり返したもの	はい 胚
⑩	根が成長するとき、細胞の数は増えるか、減るか	ふ 増える	⑲	被子植物で、受粉後に花粉から胚珠へ向かって のびるつくり	かふんかん 花粉管
⑪	根が成長するとき、細胞の大きさは大きくなるか、 小さくなるか	おお 大きくなる	⑳	⑲の実験をするとき、砂糖を含む寒天溶液をつかって 被子植物のどこのかわりにするか	ちゅうとう 柱頭
⑫	細胞分裂後の 1 つの細胞にふくまれる③の本数は 分裂前と比べてどうなっているか。	か 変わらない	㉑	植物の胚珠が発達してできるもの	しゅし 種子
⑬	生物が子をつくること	せいしよく 生殖	㉒	⑯が⑱になり、からだのつくりが完成していく過程	はっせい 発生
⑭	1 つの個体が単独で新しい個体をつくる⑬	むせいせいしよく 無性生殖	㉓	⑱において、⑰がつくられるときに 行われる特別な細胞分裂	げんすうぶれつ 減数分裂
⑮	植物がからだの一部から新しい個体をつくる⑭	えいようせいしよく 栄養生殖	㉔	⑭における親と子のように、起源が同じで、 同一の遺伝子をもつ個体の集団	クローン

中3理科	これだけは！一問一答	年組番	名前
生命の連続性② (遺伝の規則性と遺伝子・生物の多様性と進化)			

①	親の形質が子や孫に伝わること	いでん 遺伝
②	自家受粉によって親、子、孫と代を重ねても、 その形質が全て親と同じであるもの	じゅんけい 純系
③	エンドウの種子の丸形としわ形のように、 どちらか一方しか現れない形質どうしのこと	たいりつけいしつ 対立形質
④	対になって存在する遺伝子が、減数分裂のときに 分かれて別々の生殖細胞に入るという法則	ぶんり ほうそく 分離の法則
⑤	③をもつ②の親どうしを交配したとき、 子に現れる形質	けんせいけいしつ 顕性形質 (優性形質)
⑥	③をもつ②の親どうしを交配したとき、 子に現れない形質	せんせいけいしつ 潜性形質 (劣性形質)
⑦	19世紀に、自家受粉を行うエンドウを用いて 実験を行い、①の規則性を発見した人物	メンデル
⑧	遺伝子の本体である物質	DNA (デオキシリボ核酸)
⑨	②の親を交配させたとき、 孫に現れる⑤と⑥の個体の数の比	3 : 1
⑩	ある生物のDNAに、他生物の遺伝子を組み込むなどして、 生物の遺伝子を変化させること	いでんしくみか 遺伝子組換え
⑪	生物のからだの特徴が、長い年月の間に代を重ねて変化すること	しんか 進化
⑫	現在の形やはたらきは異なっている、 もとは同じ器官であったと考えられるもの	そうどうきかん 相同器官
⑬	約1億5000万年前の地層から化石が発見された、 鳥類とハチュウ類の両方の特徴をもつ生物	しそちょう 始祖鳥
⑭	セキツイ動物の5つのグループのうち、一番最初に出現したもの	ぎょるい 魚類
⑮	セキツイ動物の5つのグループのうち、一番最後に出現したもの	ちようるい 鳥類